

1級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ ……30分
口頭試問 ……9分
2. 事例は、次頁の3ケースのうち1ケースが出題されます。
3. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリアコンサルティングの実践を行いながら、キャリアコンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。

事例指導とは、相談者へのよりよい支援と、事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を目的に、事例相談者の担当する事例を通して指導を行うものです。具体的には、相談者に対する面談過程、事例の見立てや対応の方針、組織への働きかけ、リファーマーやコンサルテーション、事例相談者に不足する態度、役割意識、知識やスキル等について、気づきを促し情報提供や助言を行うことです。

4. 事例相談者（キャリアコンサルタントの役割）は試験係員が行います。
5. 最初に事例相談者に対し1分程度で、受検者（事例指導者）から自己紹介（ご自身の専門領域や理論的な立場などについて）し、その後事例内容についての説明を求めてください。その後の事例指導の進め方は自由ですが、事例相談者との間に教育指導関係を築き、事例を通して事例相談者の問題を把握し、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。
6. 受検室にボールペンとメモ用紙を1枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。
7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。
口頭試問の例：
① この事例相談者の事例の進め方の問題は何でしょうか。
② 事例相談者の問題を事例相談者と共有するためにどのような働きかけをしましたか。
③ 事例相談者の問題に対してどのような目標を設定しましたか。その考えも併せて説明してください。
8. 合格基準は100点満点で60点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の4区分です。なお、評価区分ごとに満点の60%以上の得点（所要点）が必要です。
9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 11 番 7 号 住友東新橋ビル 5 号館 9 階

TEL 03-5402-4688

【1級 第15回 実技（面接）試験 ロールプレイケース内容】

ロールプレイは、事例相談者と受検者（事例指導者）のみで行います。相談者に関することはロールプレイの中で、事例相談者に説明を求めてください。

ケース1

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Aさん、女性（34歳）

相談者が相談したこと：IT企業で金融業向けのシステム運用・保守のSE職として働き12年になる。不妊治療の末、長女を出産し、今年度の4月に育休から復帰した。できれば二人目の子どもが欲しいと思っているが、自分のキャリアのことなどを考えると迷いもあり相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Aさんは、在宅勤務を活用しながら復職して半年ほどが経つ。仕事は顧客からの依頼で突発的な残業が発生したり、休日出勤をすることもあるので、このまま育児と両立して続けていけるか不安を持っている。一方でさらなる専門性を身につけたいという希望も持っていたので、Aさんの希望に沿うように支援した。しかし面談後半になるにつれ言葉数が少なく、最後は腑に落ちない様子であった。どのような対応をすればよかったのか、気になっており指導を受けたい。

ケース2

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Bさん、男性（53歳）

相談者が相談したこと：認知症の母を介護していた父が脳梗塞で入院したので、それを機に会社を早期退職し、両親の介護に専念していた。しかし昨年の夏に両親が相次いで亡くなったことから、また仕事を始めようと思っている。ただこの間、妻に家のことを任せきりになっていたことも気になっており、今後の仕事と家庭の両立について、どのように考えたらよいかわからず、相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：約3年間のブランクがあることや就活に自信がないからなのか、Bさんの消極的な様子が気になった。ジョブ・カードでこれまでの経験や培った能力などを振り返ることで積極的に就活に取り組んでほしいと考えた。ジョブ・カードの作成が出来たら次の予約を入れるとの約束だったが、1か月以上経っても予約がない。自分の進め方に問題があったのではないかと思い、指導を受けたい。

ケース3

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Cさん、女性（22歳） 私立四年制大学 文学部4年生

相談時期：5月

相談者が相談したこと：これまでに5社受けたが、全て書類選考を通過することができなかった。最初はやる気もあったが、最近は受けたい企業も見つからないまま就職活動が進んでいない。自分が希望するような企業はもう残っていないのではと不安なまま過ごしている中、指導教員から勧められて来談。何とかして先に進みたいので相談したい。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Cさんは就職活動がうまくいかない原因がわからず落ち込んでいたので、しっかりと現状把握に努めながら面談を進めた結果、その原因については伝えることができた。次回の面談内容も理由を説明した上で同意も得ていたのに、予定日に来なかった。自分の対応のどこに問題があったのか、指導を受けたい。

以上